

自主自立、住民参画をスローガンに 竜丘らしい「地域自治組織」が発足

今年度から竜丘においては、各区の活動を基本とする『自治会』と各種団体を統合した『地域づくり委員会』の二つの組織が地域の自治活動を担うことになりました。



人の繋がりを大切にして安全、安心の竜丘づくり
竜丘自治会長
今村 健



地域づくり委員会総会

「福祉健康委員会」「環境委員会」「公民館」の五委員会によって、各種団体がこれまで実施してきた事業を、各委員会が連携を図りながら実施することになりました。また、各区の代表がそれぞれの委員会に参画しているの、区の事業とも協調しながら、効率的に実施できるようにしました。

各委員長 抱負を語る

積極的に参加していただきたいと思っています。

各委員会と区の連携で効率的な事業を実施

総務企画委員長
今村 健

より身近な各区の活動をベースに、自治会で連携を図って事業を実施するという基本に立って、竜丘全体の自治活動を進展していきたいです。



発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,802人
男子 3,344人
女子 3,458人
世帯数 2,202戸
(19年3月末現在)

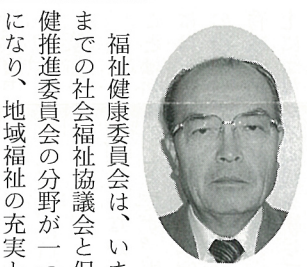


明るく安心な地域を

安全委員会
下平 廣志

安全委員会は、旧交通安全部会と旧自主防災委員会の二つを併せて成立しました。今までの活動内容を継承して、地域の安全、安心の予知予防の活動を進めていきます。

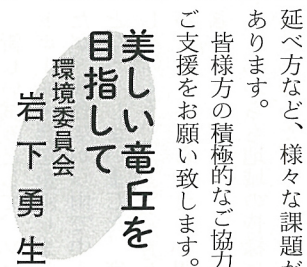
交通安全では、主に交通安全教室・イベント交通安全警備・交通安全施設の維持管



支え合いと健康を基盤に

福祉健康委員会
中平 龍興

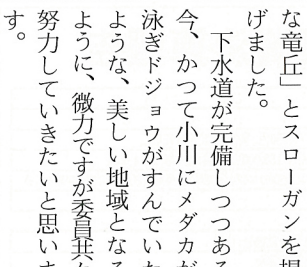
福祉健康委員会は、これまでの社会福祉協議会と保健推進委員会の分野が一つになり、地域福祉の充実と



美しい竜丘を

環境委員会
岩下 勇生

皆様の積極的なご協力ご支援をお願い致します。

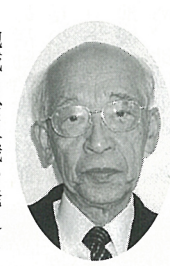


健康づくりを連携して推進

健康づくりを連携して推進していくものです。

竜丘地域づくり委員会 役員名簿

自治会長	◎今村 健	長野原	安全委員長 (交通安全部会長)	下平 廣志	時 又
自治会顧問	原 廣志	桐 林	安全副委員長 (生活安全部会長)	倉 沢 好一	桐 林
自治会顧問	今村 邦彦	時 又	福祉健康委員長 (地域福祉部会長)	○中平 龍興	駄 科
自治会顧問	下平 吾郎	駄 科	福祉健康副委員長 (健康推進部会長)	北 澤 恭子	駄 科
自治会顧問	牧内 靖幸	上川路	環境委員長	岩下 勇生	駄 科
自治会顧問	中島 武津雄	桐 林	環境副委員長	中島 茂代	長野原
自治会顧問	下平 勝熙	桐 林	公民館長	木下 陸奥	長野原
総務企画副委員長	○塚 平美乃里	上川路	公民館企画委員長	多田 晴信	駄 科
			公民館企画副委員長	原 田 忠治	長野原



学習と絆を求めて

公民館長
木下 陸奥

地域自治組織の発足にあたり、各委員会の事業と「地域づくり委員会」の仲間に入り、各委員会の事業と積極的連携して、『地域教育力』の主要な拠点として、地域づくり、人づくりに関する役割を果たすことに努める」と考えています。

「地域づくり委員会」の事業を受けもちますので、親子の触れ合い事業を積極的に取り入れ、親子共々郷土意識と絆の高揚を図ってまいります。そして、子どもから高齢者までのつながりを活かすよう企画してまいります。

公民館の使命と役割を自覚して 一年間を振り返る

平成十八年度の公民館活動は、地域の皆さんのご協力をいただき、充実した活動ができました。ありがとうございました。

公民館館長
木下陸奥

平成十八年度の公民館の諸事業は、文化・体育・広報・民俗資料保存等各委員会の委員及びスタッフら皆さんの熱心な取り組みによって、当初の計画に従い滞ることなく、見事に成し遂げてこられました。

こうした成果が得られたのは、公民館に深い理解と協力を惜しまない、地域の方々のお陰であります。

最も大きな事業である市民運動会・文化祭を取り上げて見ても明らかであります。運動会の開会式・はじめの準備運動の情景を見てもグラウンドいっぱいの人が参加していたではありませんか。文化祭を取って見ても、公民館を中心にして五十余の団体が参加され、どの展示発表も催事も質の

文化委員長
熊谷且至

高い発表でした。外部からの多くの賞賛の声を聞いたことはうれしいことでした。ホールで開催されたニューイヤークンサートを初めとして、講演会・講座など盛り上がりつつある姿は見事でありました。

嬉しいことは、次はもっとと工夫して盛り上げようという前向きな姿勢が、委員やスタッフのみに限らず、参加される方々から知ることが出来たのです。後片づけを見ても手際よく美しさをもち感じさせてくれました。

公民館は、地域の方々の絆を深め、しかも楽しさを共有させ、地域に明るさをもたらしてくれるのです。地域自治組織が発足する十九年度は、公民館の使命と期待は、一層大きなものがあります。その意義を自覚し、「地域に役立つ公民館」をめざし、更に発展するよう努めていきたいものです。

市民大講堂は「食育」をテーマにして、農水省勝野美江・保健師高山由



森林体験を満喫する

美・飯田女子短大平井俊次ら諸先生を招き、四回に亘って実施してきました。「食」は健康につながることは勿論のことです。更には、「食」を通じた家庭の役割、子どもの健やかな育成、地域の産業や文化向上につながる実践を続けていくことが重要であります。

新しい試みとして、ソフトボール大会を企画しましたが、残念ながら雨で中止となってしまいました。楽しみにして下さった方々がたくさんいらしたとお聞きしました。

「丘の語部たち」
発行にむけて
民俗資料保存委員長
林正己

民俗資料保存委員会は、一年間を通じて、地域の貴重な民俗資料の収集、整理保存にあたってきました。文化祭には、飯田市合併五十周年記念の企画展を行い、五十周年の竜丘の歩みを年表にして、写真や資料を添えて展示しました。

今年度は、数年来計画を進めてきた『丘の語部たち』の編集出版の事業に着手して、いよいよ四月には発行できる運びとなりました。

延七十余名の方々が、次世代に残しておきたい地域の自然、文化、歴史や習慣などを寄稿してくれました。竜丘の地域の過去の生活がきのうのこのように語られており、なつかしさを抱いて楽しく読むことができていくと思います。

看板も
新たに

四月一日より「飯田市役所竜丘支所・公民館」の名称が「竜丘自治振興センター・公民館」に変わりました。関係者二十名余にて、除幕式が行なわれ、新しいスタートを祝いました。



吉川博則

体育委員会の活動に参加していただいた方、一緒に仕事をさせていただいた方お世話になりました。「楽しんでいただけましたか？」委員長をさせていただき、自分に体育委員会の役割について考えてみました。「体育」という名の通り、スポーツやレクリエーションといった活動を通して、公民館の基本方針にもあります様に、知り合い、触れ合う場を提供し、参加された方々に「飲・ミニ・ケーション」を通して地域の継がりを深めていただくためのプレゼンターであるのかなと思えました。

新しい地域づくりの時代に向けて 飯田市公民館大会

第四十四回飯田市公民館大会が二月二十五日に、盛大に開催されました。地域自治組織が導入される中で、公民館は何かできるか考え合う機会として、基調講演と分科会が行われました。

大会長の木下陸奥館長より、「公民館は昔から地域の課題解決に意欲的に取り組んできた。住民が地域の特色を理解し、さまざまな深

基調講演では、東京学芸大学名誉教授、日本公民館学会前会長の小林文人さんが、「公民館創造の原点に返って自らを見つめ直すことで



「里山自然体験」実践発表

「こんなことがあったの」「そうだったの」と、時が経って読むときと竜丘の昭和時代が甦ってくることで、後世へ語り継ぐ貴重な文化遺産になると思います。既刊の三巻「丘の語部たち」に合わせて、是非とも一家庭に一冊は求めて、子ども等に伝えてくださるようお勧めします。

「地域に活かす郷土学習」の第四分科会では、時又分館の「ウェストンの足跡と時又の繁栄について」の活動発表が分館長の山田勝さんよりあり、助言者は、地域への愛着を高め、地域課題の解決、持続可能な社会に繋がる試みであると評価していただきました。

から、みんなで考える環境がテーマの第六分科会では、財産区と公民館が課題を共有し、それぞれの役割を活かした親子ふれあいハイキングでの里山自然体験学習の実践を、文化委員長の熊谷且至さんが発表しました。参加者は、公民館本来の役割を確認し、各地域の実践活動の報告から、新しい公民館のあり方を熱心に話し合いました。

身近な取り組み

平成18年度竜丘公民館地区費決算報告

区分	項目	本年度決算額	本年度予算額	比較	説明	
歳入	1 前年度繰越	441,554	441,554	0		
	2 地区費	2,585,250	2,550,000	35,250	前期1,727円×750円、後期1,720円×750円、	
	3 補助金	164,000	150,000	14,000	自治会:成人式(150,000)、社協:親子映画(14,000)	
	4 雑収入	85,412	25,020	60,392	運動会・文化祭ご祝儀(60,000円)、分館印刷機維持費(25,000円)、預金利息(412円)	
	合計	3,276,216	3,166,574	109,642		
歳出	5 報酬	200,400	215,000	-14,600	委員報酬地区費負担分:注1)	
	6 資金	59,000	59,000	0	0) 用務員文書配達資金	
	7 交際費	42,300	60,000	-17,700	館長交際費	
	8 消耗品費	123,043	100,000	23,043	事務、事業用品	
	9 会議費	164,752	220,000	-55,248	委員会等一部補助	
	10 食糧費	217,150	240,000	-22,850	反省会等飲食代一部補助	
	11 修繕費	13,650	30,000	-16,350	施設、備品等修繕	
	12 維持・管理費	82,143	70,000	12,143	公民館清掃謝礼、大掃除費用、刈-刈代	
	13 通信運搬費	0	15,000	-15,000	郵送料、輸送費	
	14 使用貸借料	50,000	50,000	0	貸し切りバス代	
	15 研修費	42,770	50,000	-7,230	委員研修	
	16 負-補-交	187,495	178,500	8,995	団体負担金、大会参加補助:注2)	
		合計	1,182,703	1,287,500	-104,797	
	事業費	17 成人式	220,205	200,000	20,205	記念事業、記念写真代、祝賀会一部補助
		18 運動会	585,203	550,000	35,203	賞品代、用具代、賞金等
		19 文化祭	154,463	300,000	-145,537	各種借上料、消耗品費等
20 体育大会		102,633	240,000	-137,367	分館参加費、大会審判員代	
21 文化事業費		61,108	140,000	-78,892	市民大講堂、ニューイヤークンサート、ふるさとコンサート等	
22 その他事業費		220,636	200,000	20,636	学級・講座、民俗資料保存活動費用、各種事業費	
	計	1,344,248	1,630,000	-285,752		
子備費	23 子備費	749,265	249,074	500,191	次年度へ繰越し(平成19年度4~7月運営費)	
	合計	3,276,216	3,166,574	109,642		

差引残高 749,265 は、平成19年度へ繰越し 平成19年3月27日 竜丘公民館館長 木下陸奥

【監査報告】平成19年3月27日監査したところ、証拠書類等整理され、適正なる処理がされていることを認めました。

監査委員 今村理則(印) 増田信義(印)